

東三河の水辺環境を親子で学ぶ

参加費
無料！

夏休みエコツアー

2024 8.10 (土) 雨天決行 (雨天メニューあり)



水辺の生きものを探そう！学ぼう！

豊かな水をたたえる新城市作手地区がフィールド。
東海地方最大の広大な湿原「長ノ山湿原」と周辺の河川
で夏の動植物を探します。
親子で水辺の生きものを観察しながら水域の生態系につ
いて学びませんか？



主催 | 愛知県 東三河総局 環境保全課 0532-35-6113

お問い合わせ | 事務局 グリーンフロント研究所(株) 0564-47-7970



以前の様子は
コチラから！

右の2次元コードから事前申込

2024年7月17日(水)締切

※定員(最大25名)に達し次第、受付終了

参加対象者 | 小学生とその保護者

参加費 | 無料

※原則、豊橋駅か東三河総合庁舎からのバス移動となります。

東三河総合庁舎では自家用車の駐車が可能です(無料)。

※集合場所までの交通費はご負担ください。

※お申込み時、弁当(1人につき約1,000円)を予約できます(弁当持参可)。



▲お申込みはコチラ

当日のスケジュール

8:00 集合 / 8:10 出発 ● 豊橋駅にてバス乗車

8:10 集合 / 8:20 出発 ● 東三河総合庁舎にてバス乗車

9:40 ▶ 12:00 ● フィールド学習① | 長ノ山湿原

12:20 ▶ 13:20 ● 昼食 (@道の駅「つくで手作り村」)

13:40 ▶ 15:10 ● フィールド学習② | 河川(巴川)

15:30 ▶ 16:00 ● 休憩 (@道の駅「つくで手作り村」)

17:20 ● 東三河総合庁舎にてバス降車

17:30 ● 豊橋駅にてバス降車

～湿原の魅力発見～

長ノ山湿原に生息する生きものを探しながら、湿原の生態系について考えてみましょう。



～河川の生きものを捕まえよう～

網を持って河川に入り、自分で生きものを捕まえて観察しましょう。



コンテンツ紹介

長ノ山湿原の魅力 |

長ノ山湿原は標高約540mの高地に位置する東海地方最大の湿原です。冷涼かつ雨の多い気候が湿原の泥炭層を発達させており、県内では珍しい泥炭の堆積する湿地で、その中でも「中間湿原」として知られています。各地でなくなりつつある湿原環境が残されており、国や多くの都道府県がレッドリストに選定しているサギソウ、タガメ、ハッチョウトンボ、ヒメヒカゲなどの希少な動植物が生息・生育しています。湿原全体が愛知県の天然記念物に指定されており、無許可での立入りや動植物の採集等の行為は禁止されています(イベントでは許可を得て湿原内での観察を行います)。



| 長ノ山湿原

巴川の魅力 |

巴川は作手地区の中心を流れる河川です。源流(分水界)は作手地区清岳の水田地帯にありますが、このように平地で分水する場所は全国的にも珍しいです。分水界より南側の水はやがて豊川に、北側の水はやがて矢作川に注ぎます(どちらにも「巴川」と名前がついていますが、相思相愛の男女が親の許しをもらえず泣き分かれたとの悲恋の伝説が残っています)。今回は分水界から約3km下流の矢作川水系の巴川で自然観察を行います。ここにはアブラハヤやヌマガエルをはじめ、多くの生きものが生息しています。



| 巴川